

新型コロナウイルス感染防止対策 による施設利用ハンドブック

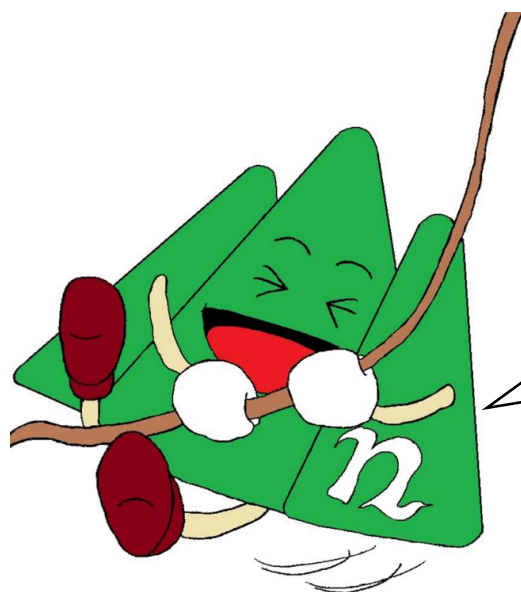
2020.12.22 ver.



独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立乗鞍青少年交流の家

もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	1
生活について・・・・・・・・	2
宿泊室等について・・・・・・・・	3・4・5
清掃について・・・・・・・・	6・7
食堂・浴室の使い方・・・・・・・・	8
研修室等の使い方・・・・・・・・	9
活動プログラム・・・・・・・・	10・11
活動施設一覧・・・・・・・・	12



ご協力
よろしく
お願いいたします



はじめに



国立乗鞍青少年交流の家では、「新しい生活様式」に取り組んだうえで、当施設での体験活動を安心・安全かつ有意義に行っていただくために本書を作成しました。

本書は、「利用の手引き」の変更点と重要事項を抜粋して記載していますので、ここに記載のない項目は、これまでの「利用の手引き」をご確認ください。

なお、国による新たな基準の公表や変更、自治体の要請の変更に伴い、本書は見直し・改訂をしていきますことをご了承ください。

○利用制限

- 宿泊室、および活動エリアのスペースにゆとりを持たせるため、**宿泊室はできるだけ2mを目安に間隔を空けられるよう定員を制限します。**日帰り利用に関しましても、同様に**制限して**受入れをいたします。
- ご利用日の14日前からの検温や、新型コロナウイルスに感染した方及び感染の疑いのある方との濃厚接触者ではないことを確認のうえ、来所をお願いします。
- 本交流の家における新型コロナウイルス感染防止対策に変更がある場合など、ホームページなどでお知らせしていきますので、随時ご確認くださいませよう、よろしくお願いいたします。なお、申し込みに係る提出書類等は、通常通りですが、加えてホームページ「関係書類ダウンロード」にあります**「同意書」「検温チェックシート」に必要事項等を記入し用紙**の提出をお願いします。

○携行必需品

※同行される講師、運転手、添乗員、カメラマンにも団体責任者のほうからお伝えください。

□**上履き**(館内はすべて土足厳禁です。)※貸出用のスリッパはございません。

□**マスク**(館内はマスク必須 **必要と思われる枚数**)

□**体温計**(体温計の貸し出しは行いません。団体内で共有する場合には一人使用毎に消毒を行う必要があるため、個包装のアルコール消毒綿等の消毒液の準備が必要となります。)

□**うがい用コップ**

□**ドライヤー**(感染拡大防止のため取り外してあります。必要に応じて)

□**ハンカチ**(ハンドドライヤーは使用禁止)

□**手指消毒薬**(各団体で準備)

□**消毒液・除菌作業用具**(各団体で準備)

□健康保険証

□長袖・長ズボン・靴下・タオルなど ※屋外でのけが防止、マダニ対策(春から秋の野外活動)

□団体で**緊急車両**をご用意ください。(市内のタクシーも利用可：片道60分、約8,000円)



【生活について】

1. 健康管理のお願い

- 入所日の朝、入所者全員の検温を行い「検温チェックシート」の記載・提出してください。
(検温チェックシートはHPの関係書類よりダウンロードできます)
- 1日2回(起床時、就寝時)の検温、健康観察をお願いします。
(毎朝 9:00 ころ検温表を事務室へ提出)
- 発熱、咳、だるさ(倦怠感)等の症状があった場合は、直ちに事務室へ連絡してください。
- 体調不良者には、指定の場所に移動していただくこともあります。

2. 活動中でのお願い

- 館内では**マスク**の着用を徹底してください。屋外では活動に合わせて着用してください。
- こまめな手洗い、**手指の消毒**をお願いします。
- 3密(密閉・密集・密接)の回避**に心がけてください。
館内の各棟及び各活動場所には当面の間の定員を設けます。(宿泊室 p3 活動施設 p8)
- 館内では、**定期的な換気**を行ってください。(1 時間に5～10 分程度)
- 近距離での会話や、大きな声、身体接触の伴う活動はお控えください。
- 屋外であっても十分な距離を取って、活動してください。
- ごみの処理に関しては、団体の責任において処理をお願いします。また、**使い捨てのマスクは団体ごと**に個別の袋に入れて縛り、**ボランティア棟一階のごみ置き場に運んでください**。
- 団体の持参した消毒液・除菌作業用具などが不足した場合には、事務室より貸し出します。※使用施設の消毒にご協力をお願いします。



◎原則として、以下の標準生活時間を目安に、活動していただきます。

6:30	7:00 ~ 7:20	7:20 ~ 9:20	8:35 ~	9:00 ~ 12:00	11:30 ~ 13:30	13:00 ~ 17:00	17:00 ~ 19:00	15:00 ~ 22:00	18:00 ~ 22:00	22:00
起床/清掃 検温 (起床時)	清掃	朝食	宿泊室 点検	午前の 活動	昼食	午後の 活動	夕食	入浴	夜の 活動	検温 消灯

- 朝、夕のつどいは実施いたしません。
- 代表者会は、代表者同士のソーシャルディスタンスを確保し OR 室にて16時40分より行います。
- 食堂は座席数を284名定員のところ75名とし、時間を指定させていただきます。(詳細は p7)
- 入浴は完全入れ替え制とし、時間を指定させていただきます。(詳細は p7)
- 陸上団体等のシャワー使用については、使用可能時間を延長し 7:00~9:00 11:00~12:30 とさせていただきます。(夏季)
- 感染防止対策に関わり、食事の席数や・入浴可能人数を制限しています。各団体の食事・入浴時間がスムーズにいくために入室時間を割り振りさせていただきます。そのことにより、活動プログラム時間の短縮をお願いすることもありますので、活動時間にゆとりをもって計画をしてください。

【宿泊室等について】

1. 宿泊部屋の定員

利用者のスペースにゆとりをもたせるため、宿泊室はできるだけ2mを目安に間隔を空けられるよう配室します。

宿泊棟	部屋の形体	新しい生活様式定員	部屋数	小計	合計定数
宿泊棟 1階	12人部屋(和室 18畳)	6人	2部屋	12人	80人
	7人部屋(和室 10畳)	4人	2部屋	8人	
	16人部屋(12ベッド)	6人	1部屋	6人	
	10人部屋(8ベッド)	4人	6部屋	24人	
	6人部屋(6ベッド)	3人	10部屋	30人	
宿泊棟 2階	12人部屋(12ベッド)	6人	2部屋	12人	40人
	10人部屋(8ベッド)	4人	4部屋	16人	
	6人部屋(6ベッド)	3人	4部屋	12人	
宿泊棟 3階	16人部屋(12ベッド)	6人	2部屋	12人	80人
	10人部屋(8ベッド)	4人	8部屋	32人	
	6人部屋(6ベッド)	3人	12部屋	36人	

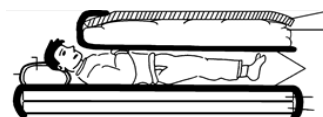
※ボランティア棟は傷病者の部屋として活用するので宿泊室として使用できません。

キャンプ場	テントの形態	新しい生活様式定員	テント数	小計	合計定数
貸出テント	5人用ドームテント	2人	19	38人	53人
常設テント	10人用常設テント	5人	3	15人	

※持込テントに定員は設けません。各利用団体でソーシャルディスタンスを考慮の上ご使用ください。

2. 部屋での過ごし方

- 可能な限りマスクを着用してお過ごしください。
- **定期的な換気**を行ってください。(1時間に5～10分程度)
(冬季は部屋窓の開閉ができないため、階段踊り場の縦長窓や部屋戸の開閉で換気を行ってください。また、宿泊棟廊下と談話室に設置してあります換気用サーキュレーターをご自由に利用ください。)
- 近距離での会話や、大きな声、身体接触を控えてお過ごしください。
- シーツ、枕カバーは図の通りに使い、**寝具に直接肌が触れないように適切な利用**をお願いします。
- **濡れタオルをタオルハンガーに干す等、湿度の調整を心がけてください。**



3. 寝具の感染症防止対策

- 使用した寝具は感染防止対策として、原則、次の利用者が使用するまで3日間空けさせていただきます。使用できない寝具のベッドには、ラミネート掲示をしておりますので使用をお控えください。なお、和室、リーダー室の寝具、補助寝具は、シーツ返却後、畳まずにそのまま退所してください。職員が入れ替えをいたします。

4. シーツの返却方法

- 部屋ごとにシーツ・枕カバーを分け、**指定の袋(所に備え付けのごみ袋を使用)**に入れて**乾燥室前**の返却場所へ返却ください。

5. 退所日の点検について

- 宿泊棟内の整理整頓、清掃については、従来通りの実施をお願いします。
- 高頻度接触部位(スイッチ、ドアノブ、掃除用具庫の取っ手、窓の鍵、ベッドのはしごなど)を**団体が持参した消毒液等にて消毒作業をしていただきますようご協力ください。**

コロナ対応に伴う部屋内配置

6人部屋（3人）



8人部屋（4～5人）



12・16人部屋（6～8人）



7人和室（4人）



12人和室（6人）



宿 泊 室 表 *利用者のスペースにゆとりをもたせるため、宿泊室はできるだけ2mを目安に間隔を空けられるよう配室します。

宿泊室内訳
部屋数51室
1F 101～122 22 室 80 名
2F 201～210 10 室 40 名
3F 301～322 19室 80 名
リーダー室 11 室 11 名

宿泊棟 3 階

リーダー室 L-31 1人 ☎431	303 4人 ベッド8 (布2)	306 4人 ベッド8 (布2)	309 4人 ベッド8 (布2)	312 4人 ベッド8 (布2)	リーダー室 L-32 1人 ☎432	寝具倉庫 № 2	315 4人 ベッド8 (布2)	318 4人 ベッド8 (布2)	321 4人 ベッド8 (布2)	324 4人 ベッド8 (布2)	リーダー室 L-34 1人 ☎434					
化粧室(女)	6 ベッド 3人 301	6 ベッド 3人 302	6 ベッド 3人 304	6 ベッド 3人 305	6 ベッド 3人 307	6 ベッド 3人 308	ベッド12 (布4) 6人 310 311	化粧室(女)	6 ベッド 3人 313 314	6 ベッド 3人 316	6 ベッド 3人 317	6 ベッド 3人 319	6 ベッド 3人 320	6 ベッド 3人 322	6 ベッド 3人 323	化粧室(男)

宿泊棟 2 階

		本部室 (2) ☎422	公衆電話		リーダー室 L-23 1人 ☎423		リーダー室 L-24 1人 ☎424	202 4人 ベッド8 (布2)	205 4人 ベッド8 (布2)	208 4人 ベッド8 (布2)	210 4人 ベッド8 (布2)	リーダー室 L-25 1人 ☎425
		本部室 (1) ☎421	本部室 (3) ☎426	AED AED 談話ホール			12人 ベッド12 6人 201	6 ベッド 3人 203	6 ベッド 3人 204	6 ベッド 3人 206	6 ベッド 3人 207	6人 ベッド12 209
化整室(男)					物干場		化整室(男)					

宿泊棟 1 階

↑非常口		↑階段 源部下												↑階段 源部上		↑非常口															
リーダー室 L-11 1人 ☎411		103 (布2) 10畳 4人		104 (布2) 10畳 4人		107 ベッド8 (布2) 4人		110 ベッド8 (布2) 4人		リーダー室 L-12 1人 ☎412		113 ベッド8 (布2) 4人		116 ベッド8 (布2) 4人		119 ベッド8 (布2) 4人		122 ベッド8 (布2) 4人		リーダー室 L-14 1人 ☎414											
入館(男)		101 (布4) 18畳 6人		102 (布4) 18畳 6人		6 ベッド12 (布4) 6人 105 106		6 ベッド3人 108		6 ベッド3人 109		入館(女)		6 ベッド3人 111		6 ベッド3人 112		6 ベッド3人 114		6 ベッド3人 115		6 ベッド3人 117		6 ベッド3人 118		6 ベッド3人 120		6 ベッド3人 121		入館(女)	
物干場										物干場																				物干場	

【清掃について】 7:00~7:20 * 新しい生活様式に準じて行います。

* 清掃場所は、宿泊室の番号で割り当ててあります。（次頁参照）
 宿泊棟と、他の清掃場所があります。（同じ記号の所が清掃場所です。）

新しい生活様式に照らし合わせ、拭き掃除を行いません。

(1) 清掃要領・用具について

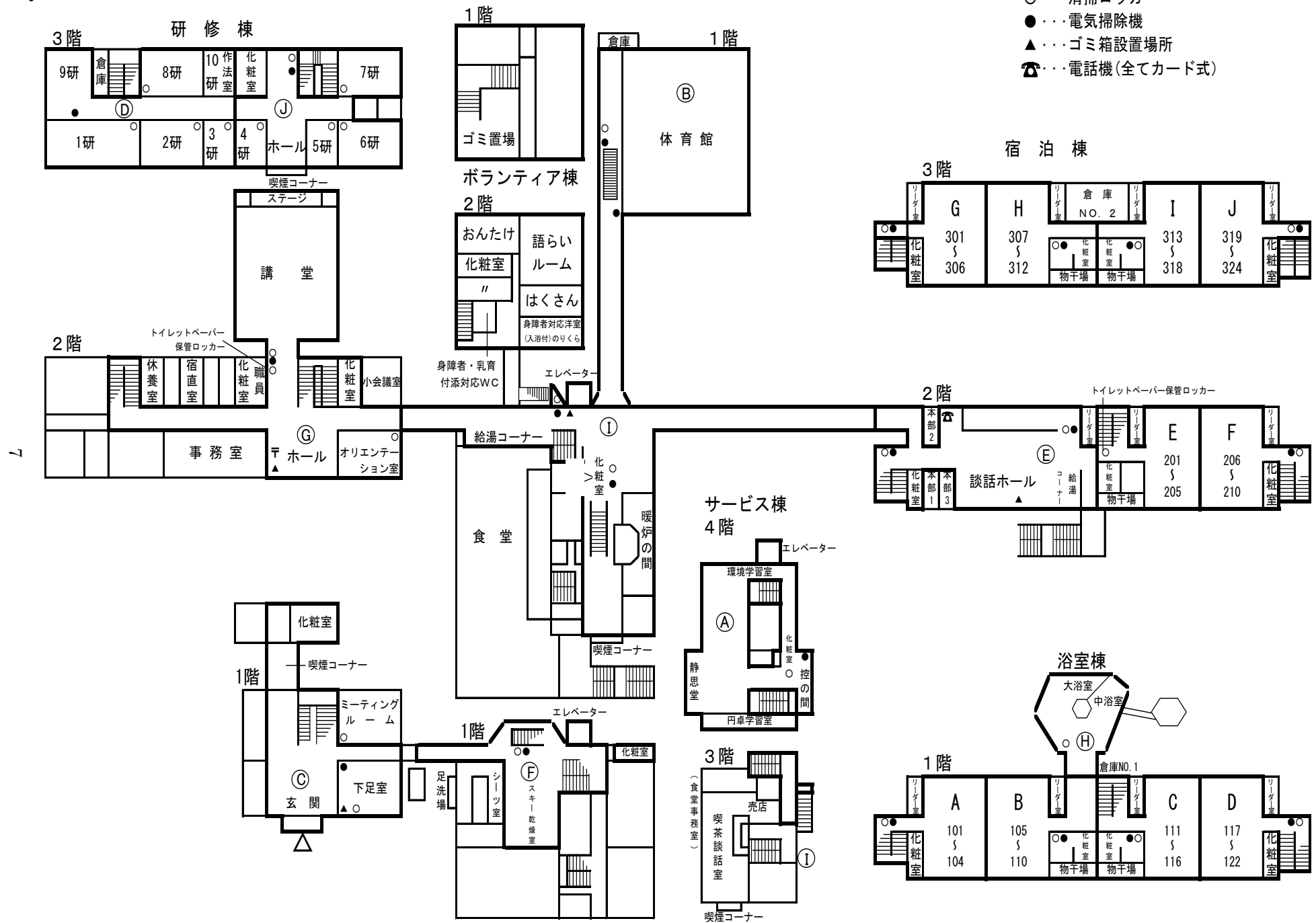
	清掃場所	用具	備考
A J (宿泊室)	宿 泊 室	ほうき・ちりと り・雑巾・掃除機	ほうきで掃く。掃除機をかける。 フロアリング等を拭く。 スイッチ、ドアノブ、掃除用具庫の取っ手、窓の鍵、ベッド のはしごなどを消毒（団体引率者）
	階 段 ・ 廊 下	雑巾・掃除機	掃除機をかける。階段は、1 階の人が 2 階から、2 階の人が 3 階から掃き下ろす。
A	サービス棟 4 階	雑巾・掃除機	全フロアー掃除機をかけ、 テーブルを拭く。
B	体 育 館	ほうき・モップ・ 掃除機	モップがけをする。倉庫の整理。カーペットに掃除機をかけ る。
C	玄関前ピロテ ィ	ほうき・モップ・ 雑巾	掃く。汚れのひどい場合は水を流す。（冬は除雪する。）
	下足室・玄関 内	ほうき・モップ・ 掃除機	マットの土をおとす。掃く。モップで拭く。カーペットに掃除 機をかける。階段を 2 階から掃き下ろす。
D	研 修 室	ほうき・モップ・ 雑巾	黒板の清掃。チョークの補充・モップがけ。 机を拭く。 （畳の 部屋は、和ほうき・掃除機）
E	談 話 ホール	ほうき・モップ・ 掃除機	畳を掃く。モップがけ。 テーブルを拭く。 椅子等の整理。階段 を 3 階から掃き下ろす。ゴミ箱のゴミの回収。
F	スキー乾燥室	ほうき・掃除機	掃く。廊下は掃除機をかける。階段 2 ヶ所は 2 階から掃き下 ろす。
G	2 階ホール・講 堂	ほうき・モップ・ 掃除機・ブラシ・ 雑巾・水モップ	モップがけ。掃除機をかける。机・椅子の整理。階段を 3 階 から掃き下ろす。
	オリエンテーション室	ほうき・モップ・ 雑巾	黒板の清掃。チョークの補充。掃く。 机を拭き 、整頓する。
H	脱 衣 室	ほうき・雑巾	床を掃く、 拭く。 洗面台の汚れ落とし。 脱衣かごを整頓。
I	暖 炉 の 間	ほうき・モップ・ 掃除機・ブラシ・ 雑巾・水モップ	モップがけ。カーペットに掃除機をかける。特に汚れた所は雑 巾がけをする。サービス棟 4 階から階段を掃き下ろす。ゴミ 箱のゴミの回収。
J	研 修 室	ほうき・モップ・ 雑巾	Dに同じ。
	3 階 ホール	ほうき・モップ・ ブラシ・雑巾・ 水モップ	モップがけ。 机を拭く。 椅子の整頓。

(2) ゴミについて

- ・ゴミは、まとめてゴミ袋に入れ、ボランティア棟 1 階のゴミ置き場まで運んでください。
- ・ゴミ箱は、常にゴミ袋をかけてください。ゴミ袋は事務室の前にあります。
- ・発熱者が出た場合は、ボランティア棟が隔離棟となるので、外ドアからゴミ置き場へ入
るように願います。

館内配置図及び清掃分担表

- ・・・清掃ロッカー
- ・・・電気掃除機
- ▲・・・ゴミ箱設置場所
- ☎・・・電話機(全てカード式)



【食堂の使い方】

- 1 回の入室を75名定員とします。
- 配膳レーンは片側のみとし、全員マスク着用とします。
- ビュッフェ方式（バイキング方式）での取り分けは、直前に個人ごとに、共用のトングやしゃもじを持つ手にポリエチレン手袋を着用し、個人ごとに盛り付けます。（手袋は交流の家で準備します）
- おかわりはごはんのみとします。おかわり前にはアルコール消毒液で手指消毒を行ってください。（消毒液は交流の家で準備します）
- 3密を避けた座席配置（横並びで最低1m間隔）でお座りください。
- 食事時間については、事前に各団体ごとに時間・場所の割り振りをさせていただきますので、時間内でのご利用をお願いします。
- 入室前の手洗い・手指の消毒を徹底してください。
- 配膳等で並ぶ場合は最低1m間隔で並んでください。団体指導者は密集しないよう参加者へ指導をお願いします。
- ドリンクバーは通常通りご利用ください。
- 摂食の時のみマスクを外し、ポケットなどで保管し食事が終わったらマスクを着用してください。



食堂の様子

【浴室の使い方】

- 入浴時間 15:00～22:00
- 脱衣所内の密を避けるための入室人数は男子中浴10～12人程度、女子大浴10～13人程度とします。
- 入浴時間については、事前に各団体ごとに時間・場所の割り振りをさせていただきますので、時間内でのご利用をお願いします。
- 浴室内でもできる限り間隔をあけてご入浴ください。
- 感染拡大防止のため、ドライヤーを取り外してあります。
必要に応じて団体でお持ちいただき、使用は洗面所をお願いします。
- 団体指導者は、研修生が3密にならないよう監視・指導の徹底をお願いします。



脱衣場

【研修室等の使い方】

○研修室

- P11の活動施設一覧をご覧ください。定員等ご確認ください。
- 活動内容、人数を考慮して事前に研修室を指定させていただきます。指定された研修室内での活動をお願いします。
- 1時間に1回（5分～10分）程度、2つの窓やドアを同時に開けるなどして**換気**を行ってください。
- 研修室内においても**マスクを着用**して、**入室の際には団体が持参した消毒液にて可能な限り手指の消毒**をしてください。
- 使用後については、高頻度接触部位（スイッチ、ドアノブ、掃除用具庫の取っ手、窓の鍵など）や使用したテーブル・椅子等を**団体が持参した消毒液にて消毒作業にご協力**ください。

○事務室

- **多人数で入室しないように入室者を限定（1～2名程度）**してください。をお願いします。
- 物品の貸出・返却についても上記の通り、限定された入室者が行うようにお願いします。



○談話ホールなどの使用について

- 談話ホール、静思堂は十分な間隔をあけて使用してください。
- トレーニングルームは、十分な距離をあけての使用をお願いします。使用したマシン、用具の消毒をお願いします。
- 暖炉の間は、自動販売機以外の使用をしないようお願いします。



暖炉の間 自動販売機周辺の様子



談話ホールの様子

【活動プログラム】

○新型コロナウイルスへの感染症対策を講じて実施できる活動プログラムの紹介

- ・活動時、館内ではマスクの着用を徹底してください。屋外では活動に合わせて着用してください。
また、ソーシャルディスタンス（研修生の間の距離を2メートル程度以上、マスク着用時1メートル程度以上）をお守りください。
- ・活動プログラムの実施方法などについては、ご相談ください。

(1) 野外活動

- ・休憩中も、ソーシャルディスタンスを確保してください。
- ・学級ごとで行うなど、少人数での活動をお願いします。

プログラム		実施に際して		
名称	概要	場所	時間	備考
登山	標高 1,956m の山頂への登山ができます。標高差 446m、片道約 6km のコース。	丸黒山	5～6時間	山開きはしておりますが、ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
ハイキング	①御岳見晴台東屋往復(3km) ②カブト山往復(4～7km) ③カブト山～わらび平(7km) ④枯松平山往復(6km) ⑤北アルプス展望コース(4.5km)	当施設周辺	①1.5～2.5時間 ②3～4時間 ③3～4時間 ④3～4時間 ⑤2.5～3時間	ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
オリエンテーリング	グループで定められたポストを探し課題解決を競う。 ①スコア OL ②野外炊事 OL	当施設周辺	①3～4時間 ②1～2時間	1人1枚の地図を用意します。密集して、話し合うようなことのないように配慮をお願いします。
野外炊事	グループで役割分担をしながら協力して食事を作ることで責任感や協調性を養います。	キャンプ場	5～6時間 (120名程度)	かまど・炊事場では、順番で作業し、ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
自然観察	植物や動物の生態、地形や水の流れ、雪や星座などを対象に楽しみを記憶の延長として残します。	当施設敷地内	1～2時間	ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。

(2) スポーツ活動・雪を利用した活動

- ・学級ごとで行うなど、少人数での活動をお願いします。
- ・道具の持ち出し、返却は職員が立ち会います。

(3) 交流・交歓を深める活動

プログラム		実施に際して		
名称	概要	場所	時間	備考
キャンドルのつどい	燭台の火の光と闇のコントラスト、静寂さと揺らめく炎、厳粛な雰囲気の中で、仲間との連帯感と活動への情熱を喚起する。	①体育館 ②講堂	2～3時間	①165人程度 ②42人程度 ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
ファイヤーのつどい	夜の闇の中で赤々と燃えさかる炎、揺らめく炎と周りの闇。様々な表情を見せる炎の前で、お互いに協力することにより協調性を養う。	①白樺堂火場 ②やまずみ堂火場 ③からまつ堂火場	2～3時間	①100人程度 ②144人程度 ③50人程度 ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。

(4) 視聴覚教材による活動

- ・学級ごとで行うなど、少人数での活動をお願いします。
- ・道具の持ち出し、返却は職員が立ち会います。
- ・活動施設実施可能人数をご確認ください。

(5) 創作活動（クラフト）

- ・すべて材料費が必要なプログラムです。
- ・道具、材料の貸し借りはしないでください。
- ・道具、材料の持ち出し、返却は職員が立ち会います。
- ・向かい合う形で制作をさけるようお願いします。そのため、可能人数を制限してあります。

	名称・時間	イメージ	可能人数	料 金	作 り 方	団体で準備	備 考
1	木製写真立て 1～2時間		140 人	270 円 板	10×20×1 cmの板を使って、ペンやバーニングペンなどで絵や字を書く。	写真 糸ゴム	雨天時プログラムとして活用できる。 (当日キャンセル可能) *コロナ対応 ソーシャル ディスタンスの確保をお願いします。
2	コースター 1～2時間		140 人	320 円 コースター板	8～10 cmのタモ材などの輪切りの木に、バーニングペンで字や絵をかく。	筆記用具 ※下絵を準備するとスムーズ	
3	キーホルダー 2時間		140 人	320 円 木片 & 金具セット	5×5×0.5 cmの木片を削ったり磨いたりして、好きな形を作る。	※下絵を準備するとスムーズ	
4	ストラップ 2時間		140 人	270 円 木片 & ストラップセット	1.5×7×1 cmの木片を削り、好きな模様や字をかく。		
5	アースアート 1～3時間		140 人	320 円 コースター板	コースターと同じものを使用。載せる材料は自分で森の中から拾ってくる。	ボンド スティックボンド (食堂別売り有り 100 円)	
6	My はし 30分～1時間		140 人	190 円 サンドペーパー付	四角柱の材料をサンドペーパーで削る(面取り)。		
7	のりくら人形 1～2時間		140 人	100 円 目玉 & ヒートンひもセット	材料は自分で森の中から好きなものを拾ってくる。目玉をつけて人形にする。	ボンド	雨天時プログラムとしては活用できない。 (必ず実施)

お願い

- 材料準備のため、ご利用2週間前には食堂事務室に連絡をしてください。 Tel.0577-31-1007
- 「7. のりくら人形」は雨用の代替プログラムにはしないでください。(必ず実施のプログラム)
直前の人数変更で使わない分や実施できなかった場合は、材料買取りでお持ち帰りください。
- 持ち込みの材料がある場合は、事前の打ち合わせをお願いします。

※ 詳しい内容は「乗鞍青少年交流の家」ホームページのTOPページにある「活動紹介」のプルダウンリスト → 「創作・館内活動」より「クラフト」をご覧ください。

※ 冬季(12月～3月)は、3.キーホルダーは実施いたしません。

【活動施設一覧】

新しい生活様式に対応した定員（マスク着用時前後左右1mを確保）を記載しております。

名称	定員	設備・備品
管理研修棟		
1 研	59	机3人用(42) プロジェクター及びプラズマディスプレイ(DVD・VD)・放送設備
2 研	41	机3人用(24) プラズマディスプレイ(DVD・VD)
3 研	20	机4人用(4)・3人用(8) プラズマディスプレイ(DVD・VD)
4 研	20	机4人用(4)・3人用(8) プラズマディスプレイ(DVD・VD)
5 研	20	机4人用(4)・3人用(8) プラズマディスプレイ(DVD・VD)
6 研	41	机3人用(24) プラズマディスプレイ(DVD・VD)
7 研	26	机3人用(18) プラズマディスプレイ(DVD・VD)
8 研(和室)	15	座卓 16 (3×16)・30 畳
9 研(和室)	27	座卓 24 (3×24)・54 畳
10 研(作法室)	3	12 畳
特 設 オ リ エ ン テ ー シ ョ ン 室	0 30	使用不可 椅子 120 机3人用(28) プラズマディスプレイ(DVD・VD・PC) 机利用の場合は定員21名
サービス棟		
円卓学習室	0	使用不可
暖 炉 の 間	0	使用不可
食 堂	75	テーブル 52・椅子 284
喫茶談話室	0	使用不可
環境学習室		地形模型等
静 思 堂		35 畳
控 の 間		28 畳
宿泊棟		
1 階	P3 参照	ベッド 120 人・布団 54 人
2 階		ベッド 80 人・布団 8 人
3 階		ベッド 160 人・布団 24 人
リーダー室		11 室 和室 30 人
本 部 室		3 室
浴 室		2 室
談話ホール	P8,9	60 畳, ソファールーム

名称	定員	設備・備品
体 育 館 縦 35m×横 28m		1,100㎡・放送設備（CD・ワイヤレスマイク） クライミングウォール スクリーン・電子オルガン・電子ピアノ
講 堂 縦 20m×横 18m	最大 195	椅子 450・プロジェクター 放送設備（CD・DVD・PC・MD・ワイヤレスマイク）・電子オルガン・ピアノ
ボランティア棟		語らいルーム・身障者対応洋室等
名称	設備・備品	
スポーツ活動		
体 育 館	バレーボールコート バスケットボールコート バドミントンコート ハンドボールゴール（仮設2） 卓球台（2） クライミングウォール 公認レスリングマット	
	各種トレーニング機器	
	フットサル	
グ ラ ウ ン ド 縦 130m×横 65m	ソフトボール 陸上競技 （高地トレーニングウッドチップコース等） グラウンドゴルフ	
野外活動		
白 樺 堂 火 場 やますみ 堂 火 場	照明・ワイヤレスマイク（各2本）・放送設備（CD・カセット）・ファイヤーベース・水道設備	
乗鞍青少年交流の家周辺	ディスクスローイング・ゴルフ クレースピードコース オリエンテーリングコース（4コース 55ポイント） 高地トレーニングコース各種 （詳細はP17 参照） 初心者ゲレンデ ソリゲレンデ 遊歩道・ハイキングコース キャンプ場・・・宿泊 53 名 炊事場・・・・・・約 120 名 登山コース（丸黒山） 市営飛騨高山スキー場 市営飛騨高山キャンプ場 市営 ^{せつじょう} 田 城 グラウンド わらび平展望公園	
	貸出物品	
カブラ・ドミノ・デジタルタイマー（試合用） 天体望遠鏡・大型双眼鏡・双眼鏡・星座早見盤 移動式プロジェクター・CD・ポータブルワイヤレスマイク スノーシュー・輪かんじき・オーバーシューズ キャンドルサービス燭台・衣装・キーボード		

※いす・机などの備品について使用不可の表示があるものは、触れないようにお願いします。
※教材庫や倉庫の備品を使用の際には、必ず事務室へお声かけください。

〈メモ〉



National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構



申し込み・問い合わせ

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立乗鞍青少年交流の家

〒506-0815 岐阜県高山市岩井町913-13

TEL 0577-31-1013 FAX 0577-31-1025

E-Mail norikura@niye.go.jp

ホームページ <https://norikura.niye.go.jp/norikura/>

